

災害直後から復旧・復興に至る 基礎自治体の対応力を考えるフォーラム

阪神・淡路大震災から26年、この間、自治体の災害対策が見直されてきました。しかし、災害が発生する度に、災害経験のない市町村（＝未災自治体）では、予想以上の大混乱に陥る状況が今なお見られます。その後の復旧・復興にも支障が生じています。住民に最も近い基礎自治体の対応力を高めるにはどうすれば良いでしょうか。“二度と同じ過ちを繰り返さない”－被災自治体が誓い、努力を重ねた貴重な教訓が各地で生まれてきました。これらをいかに共有するか。災害経験ある自治体関係者にご登壇いただき、今後の災害に備えるための教訓の共有化を探ります。

日時・形式

令和3年2月27日（土）13：00-16：00 コロナ禍を踏まえ、オンラインで開催

ミーティングURL https://hyogo-u.webex.com/meet/uhyo_k034

（当日12時45分から入室できます）

主催

兵庫県立大学、ひょうご防災連携フォーラム、日本災害復興学会

内容

(1) 主催者挨拶（13：00-13：05）

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長：室崎 益輝

(2) 基調講演（13：05-14：20）

関西国際大学特命教授・兵庫県立大学特任教授（元兵庫県副知事）：齋藤 富雄

阪神・淡路大震災後、日本初の防災監に就任、防災対策の強化に取り組んだ。副知事退任後は、大学で教鞭を取り、次世代の育成にも努めている。最近出版された「防災・危機管理 実践の勘どころ」を踏まえ、市町村を含む全国の自治体職員に対し、防災・危機管理への取り組みに向けたメッセージをいただく。

(3) パネルディスカッション（14：30-16：00）

災害を経験した基礎自治体職員から、災害後の対応、その後の復旧・復興、教訓等について披露いただく。将来の災害に向け、自治体間連携を深める上での、教訓の共有、職員の育成、自助・共助・公助の役割、コロナ禍での災害対応等について議論する。

パネリスト

熊本県益城町危機管理監

今石 佳太（平成28年熊本地震から）

兵庫県丹波市生活環境部長

余田 覚（平成26年豪雨災害から）

宮城県気仙沼市震災復興・企画部長

小野寺 憲一（平成23年東日本大震災から）

コメンテーター

関西国際大学特命教授・兵庫県立大学特命教授 齋藤 富雄

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授 紅谷 昇平

コーディネーター

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授 青田 良介

問い合わせ先： 青田良介 ryosuke_aota@drg.u-hyogo.ac.jp

